

峡南をつなぐ

山梨県議会議員 **長沢けん** 県政報告
西八代郡・南巨摩郡選挙区

Ken's Report

No.4
2024 春号

ごあいさつ

県議会議員2期目がスタートし、あっという間に1年が過ぎようとしています。多くの峡南地域の声を聞き、小さなことからコツコツと事業化してきました。宿題をいただいている事業も少しづつ進んでいます。

さて、来年度予算を決める、山梨県議会2月定例会が開会し、一般会計は5145億円余、特別会計は、恩賜県有財産ほか9会計を合わせて3099億円余、企業会計は、電気事業ほか3会計で225億円余が計上されました。

来年度も、知事の掲げる2本の柱、「ふるさと強靱化」「開の国」づくりを峡南地域に繋げ、「**山梨県にとっての豊かさは何か**」という命題に対し多様な視点を持ち、建設的な意見をぶつけ合い施策を紡ぎだしていきます。

「ふるさと強靱化」では、元旦に発生した能登半島地震を教訓に、住宅の耐震化、老朽化した施設のインフラ整備、災害時の応急対応など県土強靱化を進めます。

また、海と空に開かれた「開の国」実現のため、峡南地域にあるインターチェンジの活性化に取り組んでまいります。昨年、六郷インターチェンジ開発推進協議会が設立されました。企業誘致、観光客の誘致、定住人口を増やす施策にもつなげていきます。

2期目とはいえ、まだ2年目の新米県議です。まだまだ声を聞けない方々が多く、私の政治スローガン「**峡南をつなぐ**」は始まったばかりです。

これからも、地域の声を県政へしっかりと届け、子どもたちの明るい未来を創造し、峡南地域、そして本県の発展のために取り組んでまいります。



日本航空高校石川の支援

2024年が、良い年になりますように、と手を合わせた元旦の午後、能登半島を地震が襲いました。亡くなった方々に哀悼の意を表すとともに、被災した方々に心よりお見舞い申し上げます。また、今もなお復旧復興に向けて活動している方々に対し、敬意と感謝を申し上げます。

地震発生して2日後、日本航空高校関係者から連絡がありました。生徒たちは大丈夫だが、校舎、グラウンドが壊滅状態で、今の校舎を復旧するには相当の時間がかかるとのこと。野球部は、春の選抜高等学校野球大会に選出される可能性があり、今すぐにでも練習できる環境を整えてあげたい。とのことでした。

そこで、正月明け仕事始めから、県の学校施設課、富士川町に提言。富士川町を介して、増穂商業グラウンドを使用している、全日本少年公式野球連盟（ヤングリーグ）所属、山梨BANDITS YOUNGにも、グラウンドを提供できるか相談したところ快諾をいただきました。

閉校しているので、水も電気も止まっていましたが、山梨県、富士川町、多くの方の協力で、わずか2週間後の1月19日、日本航空高校石川野球部が始動することができました。

春の選抜高等学校野球大会出場も決まり、富士川町内に野球部の元気な声が響いています。彼らのプレーは、被災した方々に勇気と元気を与えてくれると思います。春の選抜高等学校野球大会は、山梨県も盛り上がります。2連覇を目指す山梨学院高校、日本航空高校石川を応援しましょう。



自由民主党新緑の会を代表して登壇

1 高齢者の認知症対策について

認知症が重症化すると、最愛の家族の名前すら忘れることもあり、家族にとっては悲しいことである。2025年には、高齢者人口の5人に1人は認知症になるとの推計があり、待ったなしの重要な局面を迎えている。認知症の支援体制の整備や予防対策についての取り組みを伺う。

【知事】

県では、市町村と連携して「認知症サポーター」の普及拡大に努めてきた。本年度9月末には12万3千人を超え、人口に占める割合が全国10位となった。しかし、個人では限界があり、組織で支援を行う「チームオレンジ」の普及を進めている。現在8つの市町村に設置されているが、全ての市町村に拡大し、認知症の方への支援体制の充実・強化につなげる。認知症予防には、ストレス、生活習慣病との相関が明らかになり、その対策についても研究が始まっている。農業体験でストレス軽減させるなど、認知症予防に関して最新の研究を行う大学と連携し、豊かな自然環境を活用する実証実験に取り組む。

2 慢性腎臓病対策について

慢性腎臓病は、成人のおよそ8人に1いると推計される。腎臓は沈黙の臓器と呼ばれ、気づいたときには人工透析をしなければならず、医療費には年間約500万円を要し、山梨県国保の10分の1近くを人工透析の治療費に費やしている。予防には塩分制限が大事であり、減塩は心筋梗塞や脳卒中の予防にも有効なので、取り組みを更に推進していく必要がある。慢性腎臓病の予防のための取り組みを伺う。

【福祉保健部長】

昨年度、県民から減塩のメニューを募集しコンテストを開催した。最優秀賞のメニューを商品化して販売できるよう、関係者と協議を進めている。「食生活改善推進員」とも連携し、減塩意識を浸透させる取り組みを進めている。本年度、治療を要する方の所属企業に対し、時差出勤などの働き方を提案し受診を促す取り組みが国のモデル事業に選定された。企業の人事担当者や産業医を対象とした研修会を開催して、治療を受けやすい職場環境づくりへの理解を深める。更に、健康づくりの基本計画である「健やか山梨21」に、減塩や職場の健康づくりの取り組みを位置付け、県民運動として推進していく。

3 地域ゆかりの戦国武将を活用した観光振興について

武田信玄公に仕えた武田二十四将の一人に私の地元峡南地域の穴山梅雪がいる。梅雪は、武田勝頼を見捨てた「裏切り者」のイメージがあるが、近年、武田家を守るため織田軍に降伏し、武田家の再興を夢見たとする見解もある。私は、穴山梅雪が、甲斐の人々を守ったというのが事実であろうと信じている。穴山梅雪をはじめ個性に満ちた武田二十四将を観光資源とするのはどうか。



地域ゆかりの戦国武将を活用した観光振興について所見を伺う。

【観光文化・スポーツ部長】

地域固有の歴史文化を、観光資源として活用する取り組みには、大きな可能性がある。地域ゆかりの武将を地域資源として新たな地域ブランドを創出することは、他地域との差別化につながり、歴史教育・地域への愛着・イノベーションの促進にもつながる。しかし、この取り組みは、短期間で成果を上げるのは難しい。地域ゆかりの武将について、その生き様を深く掘り下げるなど、地域が主体となった取り組みを進めることが重要。今後、武田二十四将を活用した地域ブランドの創出に向けて勉強会を開催するなど関係者と議論を始める。

4 インバウンド観光客のレンタカー利用促進について

10月に日本を訪れたインバウンド観光客は250万人を超え「コロナ前」を上回った。河口湖周辺では、バスの乗車に長蛇の列ができ、観光客の移動に支障を来している。一方で、インバウンド観光客のレンタカー利用が増加している。レンタカーでの県内周遊が促進されれば、滞在時間の延伸につながり、県内様々な地域の消費拡大が期待される。インバウンド観光客のレンタカー利用促進の取り組みについて伺う。

【観光文化・スポーツ部長】

県内のインバウンド宿泊者の95%は、富士北麓地域に集中している。この観光客が県内広域に足を伸ばせば、観光消費額の増加につながるが、様々な課題がある。車を予約する際に利用時間をあらかじめ定めるため、その時点で様々な観光地があること、そこまでの到達時間、滞在時間などを伝える必要がある。また、車を借りてから、車内で情報を一覧にし、容易に目的地設定できることが重要となる。更に、自国と交通ルールが異なることから、日本の交通ルールやマナーなどを理解していただくことも必要。レンタカー業界と連携して、課題の解決について目途がついたものから早急に実施していく。

5 中部横断自動車道における増穂・双葉間の4車線化整備について

国では暫定2車線区間の解消を目指し、4車線化を進めているが、多額の予算や整備に時間を要する。一方、増穂から双葉間は、

完成4車線の用地が既に取得され、4車線化を見据えた形で橋脚を整備している区間もある。沿線地域は、工業団地の新たな造成による企業進出や、来年開業予定のコストコなどにより、新たな交通需要が見込まれる。交通量の増加への対応や安全走行の確保のためには、中部横断自動車道の4車線化が必要であると考えるが、増穂・双葉間の4車線化整備に向けた所見を伺う。

【県土整備部長】

国は「高速道路における安全・安心基本計画」を策定した。この計画では、時間信頼性の確保・事故防止・ネットワークの代替性確保の3つの観点から、4車線化優先整備区間が選定され、中部横断自動車道の増穂・双葉間は、事故防止の観点から、白根・双葉間が優先整備区間となっている。まずは中部横断自動車道のミッシングリンク解消を目指しつつ、優先整備区間の早期4車線化を、国や関係機関へ働きかける。

6 公立小中学校における支援スタッフの活用について

本県は、支援スタッフが、教室内の消毒などの感染症対応や、家庭への配付文書の印刷、電話対応といった様々な業務の補助をしていただくことで、学級担任が大変助かっていると伺っている。地域住民の協力もすすめたい。教員にかかる負担を軽減するために、支援スタッフを積極的に活用していくことが重要と考えるが所見を伺う。

【教育長】

現在、公立小中学校では、約450名の支援スタッフが配置されている。学力向上支援スタッフは、学級への全体指導だけでなく、個別指導によるきめ細かな学習支援を可能にし、教員が教材研究に取り組む時間や、子どもと向き合う時間を生み出している。さらに、支援スタッフを、地域の方々に担っていただくことにより、地域の絆づくりにもつながる。国は、来年度予算の概算要求において、学校で最も忙しい教頭を支援するスタッフの配置に要する経費を新たに要求している。県としても、学校運営の要である教頭の負担を軽減する取り組みを進める。学校を支える支援スタッフを積極的に活用していく。

他

7 再生資源物の不適正保管等の防止及び産業廃棄物の適正管理の促進に関する条例の制定について

8 スタートアップ支援拠点について

9 国民スポーツ大会並びに全国障害者スポーツ大会の開催に向けた競技力向上について

10 富士川の中流域におけるアユを育む川づくりについて

11 子どもの読書活動の推進について

12 県内の暴走族の現状と年末に向けた県警察の取締りについて

詳しくは県議会のHPから動画をご覧ください！



土木森林環境委員会



今年度、土木森林環境委員会の委員長を拝命しました。
主な活動としては、定例議会で委員会に付託された、土木、森林、環境の議案を審議しました。

県外視察では、8月28～30日に高知県、香川県の先進技術、プロジェクトを視察しました。

県内視察では、委員長のお膝元、峡南地域を優先的に計画し、芦川橋、富士橋、新身延中学校を視察。建設業の現状を知るため、地元、市川建設業協会の役員の皆さんと意見交換会を行いました。

委員会で学んだ知識を、県政に反映できるよう取り組んでまいります。



県外調査 香川県庁治水対策



県外調査 高知 技研製作所



市川建設業協会との意見交換会



県内調査 芦川橋視察



県内調査 新身延中学校視察



県内調査 富士橋視察

決算特別委員会

9月定例議会において、決算特別委員会を設置し15名の議員に選出されました。

10月20日～24日まで、各部局から説明、質疑を行い、11月15日～16日に総括審査を行いました。総括審査に登壇し11の議案について質疑を行いました。



デジタル化推進委員会

デジタル化推進委員会では副委員長を拝命しました。完全ペーパーレスを目指す取り組みを進めながら、先進事例の研修も行いました。

10月30日は、日本マイクロソフト株式会社品川本社にて、「議会において生成AIなどの活用について」12月18日には、株式会社日立製作所の「生成AI・政策提言AIについて」研修しました。

議会で、より効率よく議論できるか、システムの構築を目指します。



突撃！ 県庁探訪³

山梨近代人物館

昭和5年の創設時の姿によみがえった
県庁舎別館内に「山梨近代人物館」があり
ます。

山梨県の発展に貢献した人物や、国内
外で活躍した山梨ゆかりの人物を紹介して
います。奥には、旧知事室や正庁が復元されています。

県庁舎別館内には、映画ゆるキャン△で、県庁にU
ターン就職した大垣千明ちゃんが配属されたとされる、
やまなし観光推進機構もありますよ。

開館時間▶午前9時00分～午後5時00分

休館日▶第2・第4火曜日及び年末年始

※その他、臨時に開館・休館することがあります。

最新情報は山梨近代人物館のトップページをご確認ください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

入館料▶無料



*旧知事室内は撮影禁止ですが、今回皆さまにご紹介するため特別に許可をいただきました。

峡南めぐり

昔々、富士川には舟運という年貢米を運ぶための川の道が
あったそうじゃ…。時代は流れ、「道の駅富士川」が、中部横
断自動車道の立ち寄り所として賑わっているよ。地元の特産品、
県外の海産物、さらに、地元の食材で作るバウムクーヘンの
店「BAUMARURA」もおすすめ。展望デッキから一望できる
甲府盆地の景色を見ながら運転の疲れを癒すのもいいね。レ
ンタルサイクルもあるので、富士川沿いを風を切って走るのも
おすすめ。今後、「BEAMSCREATIVE」プロデュースで、さ
らに賑わいを創出する施設へと変わっていくので、乞うご期待。



2階テラスで もぐもぐタイム♪

活動報告

長沢けんの議会活動・地域活動の一部を写真で
ご紹介。日々の活動はSNSからご覧いただけます。



みのぶまつり



富士橋竣工式



祝貫通 中央新幹線第一南巨摩トンネル
リニアトンネル貫通式



身延町消防団出初式

編集後記

県議になって、早いもので2年が過ぎました。
すでに2期目ということで様々な要職もいた
だき、勉強の毎日です。

会派の構成により、代表質問の登壇機会は年1
回しかありませんが、日頃より峡南地域の課題に
対し、声を聞いては解決に向けて取り組んでいま
す。

峡南地域は、国道300号 中之倉バイパス、富士
橋開通など、着々とインフラ整備は進んでいま
す。しかし、過疎化、高齢化が進み難題課題も山
積しています。

これからも、皆さんの声を県政に届け「峡南を
つなぐ」のスローガンのもと、一生懸命働いてま
いります。

政治は身近にあるもの、これからも気軽にお声
掛けください。ご要望は、メール、FAXで送って
いただければ、ありがたいです。

ご意見・ご要望をお聞かせください

山梨県議会議員（西八代・南巨摩選挙区）
なが さわ

長沢けん 事務所

〒400-0503 山梨県南巨摩郡富士川町天神中條948
TEL 0556-22-6990

FAX 0556-22-6980

E-mail rise@violin.ocn.ne.jp

